

広域連合だより

構成市町村 日向市 門川町 美郷町 諸塚村 椎葉村

【第49号】

令和7年3月発行
日向東臼杵広域連合
〒883-0034
日向市大字富高2192
TEL(0982)53-3401
FAX(0982)52-7889
http://hyuga-kouiki.jp/

議会だより①

令和6年第3回定例会

令和6年11月5日(火)、令和6年第3回定例会が開催されました。

今回の定例会では、議案1件と決算1件についての審議が行われました。

議案第6号 副長の選任について

前副長が3月30日をもって退職したことに伴い、後任の広域連合副長として、現在の日向市副市長である黒木升男さんの選任が提案されました。これについて採決が行われ、全会一致で原案のとおり同意することに決定しました。



▲副長：黒木 升男
(日向市副市長)

【副長あいさつ】

行政全般にわたる経験を活かし、広域連合長の補佐役として、構成団体の皆様方と連携を密に、本広域連合の充実発展に努力して参る所存であります。

どうぞよろしくお願いたします。

認定第1号 令和5年度

日向東臼杵広域連合歳入歳出決算

令和5年度の決算総額は、歳入総額が6億3,986万6千円、歳出総額が5億9,836万7千円、歳入歳出差引額は4,149万9千円でした。実質収支額も同額の4,149万9千円であり、その全てをごみ処理施設整備基金をはじめとする4つの基金に積み立てています。

これについて質疑が行われ、その後の採決の結果、全会一致で原案のとおり認定することに決定しました。

一般質問

河野ひとみ議員(日向市選出)

【Q1】8月の地震や台風で、清掃センターや東郷霊苑、最終処分場建設候補地に被害やトラブルはなかったか。

【A1】いずれの場所においても、被害やトラブルはなかったところである。(広域連合事務局長)

【Q2】地震や台風を経験し、災害時のマニュアルの作成や緊急時の対応等見直しする点があったか同。

【A2】災害時のマニュアルの作成や緊急時の対応の見直しは特に行っていないが、

関係事業者等と緊急時の対応手順について改めて確認を行ったところである。(広域連合事務局長)

【Q3】災害後の清掃センターへの災害ごみの受入れ状況はどうだったのか。トラブル等はなかったか。また、今後の課題点はなかったのか。

【A3】台風10号において約3トンの災害ごみを受け入れたが、トラブルは発生していない。また、大規模な被害が発生した際の災害ごみの仮置き場や分別等が課題となっているが、今回の台風のように被害の拡大が想定される場合は、事前に関係自治体と協議を行っている。(広域連合事務局長)



▲質疑・答弁の様子

次期最終処分場の検討状況について

第5回建設検討委員会（訂正）

前号（第48号）3ページの「委員からの質問と事務局の回答」について、建設検討委員より回答が不十分という指摘がありました。よって、次のとおり回答を訂正いたします。

【Q1】地質調査を実施する土地について、地権者の承諾はとれているのか。

【A1】地元区より、最終処分場候補地の本格調査実施についての同意となる基本同意を得ており、地権者については、予備調査時の訪問説明及び本格調査実施前の協力依頼を行った際、特にご意見をいただきませんでしたので、同意を得たものと理解しております。

第6回建設検討委員会

次期最終処分場建設にかかる各種計画を検討する上で、広く専門家や住民の意見を聴くために、令

和6年11月28日（木）に美郷町西郷ニューホープセンターで「第6回回向東臼杵広域連合次期広域最終処分場検討委員会」を開催しました。



委員会では、今年度実施した地質調査結果（中間報告）の報告を受けるとともに、最終処分場施設計画、生活環境影響調査計画について検討していただきました。

【地質調査結果（中間報告）】

調査結果及び地質的留意事項、対応等については次のとおりです。

- ①地下水が2層ある。
- ②阿蘇火砕流堆積物の中で硬さが違うことにより、法面の切土を行う際に流出する恐れがある。

↓地質調査の中で性状を確認し、法面の切土をどれくらい勾配にすればよいかを検討していく。

③河川の玉石が分布している段丘堆積物の層は、地耐力は期待できるが水が流れやすく、透水性が高いため、一部の地下水の流出経路となっている。

↓地層の圧が少しかかっている被圧水となるため、水位や流れを調査しながら確認を行い、並行してコンクリート構造を設置した際に問題が生じないかを確認していく。

④施設配置に関して、地すべりが過去に起きた箇所が3箇所、現在の計画地に分布している。

↓該当箇所を設置予定であった防災調整池は位置をずらして対処する。地すべりについては継続調査を行い、対応検討をさらに進めていく。

【最終処分場施設計画】

最終処分場の埋立完了から廃止するまでの維持管理期間を15年間と想定し、その上で施設計画のそれぞれの方式等について比較検討

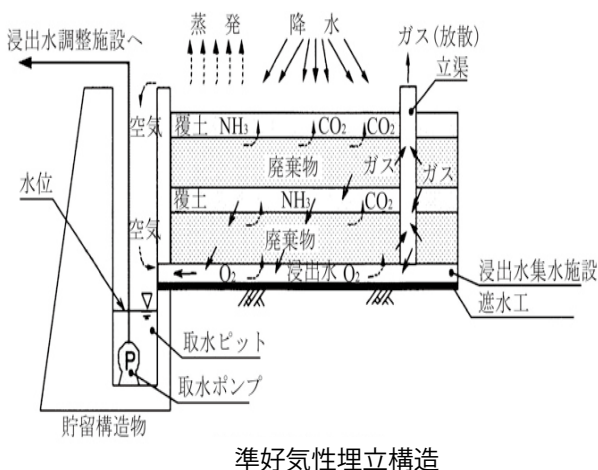
を行い、検討方針を決定しました。

①施設計画

防災調整池については地すべり地形を避けて配置します。あわせて埋立地についても縦横の長さを変更し、課題に応じて対処します。

②埋立計画

埋立地を屋根で全て覆う1区画とし、埋立地内の安定化のために酸素の循環を行う準好気性埋立構造を採用します。また、被覆型処分場では屋根や側壁等を設置して屋内で管理するため、一層ごとに埋め立てたあと土を被せる、サンドウィッチ方式を採用します。



③ 廃棄物の搬入方法

埋立地への通路を整備し、ダンプトラックによる直接搬入方式を採用します。

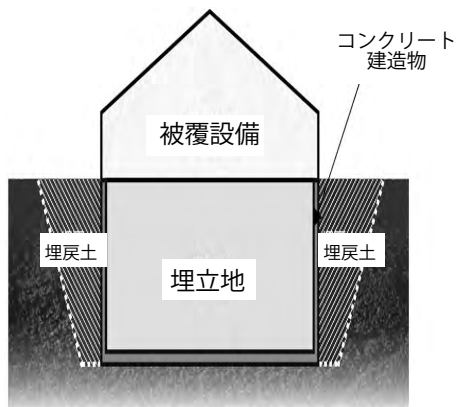


→ダンプトラック直接搬入方式イメージ図（出典：賀茂環境センターパンフレット 広島中央環境衛生組合）

④ 貯留構造物

コンクリートで全体を一体の構造物として造る、コンクリート構造形式を採用します。

コンクリート構造図



⑤ 浸出水処理計画

浸出水処理施設の中での処理量、散水量の設定が必要であり、また、処理をきれいにしていくために、浸出水中の液固比（廃棄物と水の比率）を設定します。その値は3.0（廃棄物1に対し、水を3倍）として、将来的に散水していくこととします。

【委員からの主な質問と事務局の回答】

【Q1】地すべり地形について、どのような対策を実施するのか。

【A1】地すべり地形の下部に盛土を行い、押え盛土とします。

【Q2】ごみを埋め立てる場所について、地質的に問題はないか。

【A2】现阶段で把握している限りでは、問題はありません。

【Q3】車両のタイヤに付着した灰は、どのようにして施設の外出さないようにするのか。

【A3】洗車場を埋立地内に造り、そこで車両のタイヤを水洗いしてもらうことを基本とします。

【生活環境影響調査計画】

現在計画している一般廃棄物最終処分場が周辺地域の生活環境に及ぼす影響について、あらかじめ調査・予測・評価を行い、環境保全措置を検討するため、国の指針に基づいて生活環境影響調査を実施します。

調査の内容は風速・風向、粉じん、騒音、振動、交通量、水質等で、期間は令和7年1月から12月までの1年間で計画しています。



▶粉じん調査



▶水質調査



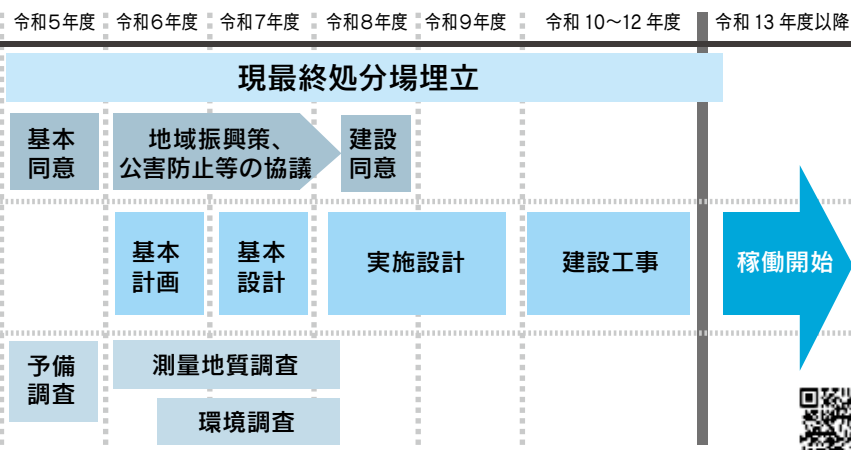
▶風速・風向調査



▶交通量調査

今後の事業スケジュール

左の図のスケジュールに沿って、段階的に令和13年度以降の供用開始に向けての計画設計や各種調査を実施する予定です。今後も花水流域地域協議会、また必要に応じて住民説明会を開催し、ご意見を伺いながら施設整備に反映していきます。



会議録や会議資料は広域連合のホームページで公表しています。

議会だより ②

令和7年第1回定例会

令和7年2月17日(月)、令和7年第1回定例会が開催され、広域連合長提出議案2件、委員会提出議案1件についての審議が行われました。

広域連合長提出議案第1号 令和6年度日向東白杵 広域連合補正予算(第1号)

広域連合長提出議案第2号 令和7年度日向東白杵 広域連合予算

委員会提出議案第1号 日向東白杵広域連合議会の 個人情報保護に関する条例の 一部を改正する条例

これらについて質疑が行われた後に採決が行われた結果、全員の賛成で、全会一致で原案のとおり可決することに決定しました。

一般質問

河野ひとみ議員(日向市選出)

【Q1】今年1月に発生した地震による被害等はなかったか。また、今後の課題点等はなかったか。

【A1】地震による被害等はない。課題としては施設の固定電話が不通になることが想定され、対応として、業務委託先の職員との連絡手法の確認を行った。(広域連合事務局長)

【Q2】年末の清掃センターのごみの特別受入れの際、トラブル等はなかったか。

【A2】一般持ち込みの車両の自損事故が2件発生し、破損箇所について現在は修理が完了している。(広域連合事務局長)

【Q3】清掃センター内の計量出口にあるバーの破損について、業務に支障はないか。今後の修繕の予定は。

【A3】現在は部品を交換し正常に作動している。それまでの間も業務に支障はなかった。(広域連合事務局長)

一般質問

黒木雅由議員(日向市選出)

【Q1】次期広域最終処分場の型式について、被覆型のメリット・デメリットをどのように整理しているか。

【A1】被覆型は埋立地上部を屋根や外壁で覆い、散水により浸出水処理を行うものである。メリットとしては埋立地が閉鎖空間となり近隣の生活環境への影響が低減されることや、雨量の変動の影響を受けないこと、処理施設が小規模となり管理も容易となるなどが挙げられる。

デメリットとしては屋根や外壁の建設コストや廃止後の解体コスト、人工散水のための施設整備が必要となるなどが挙げられる。(広域連合長)

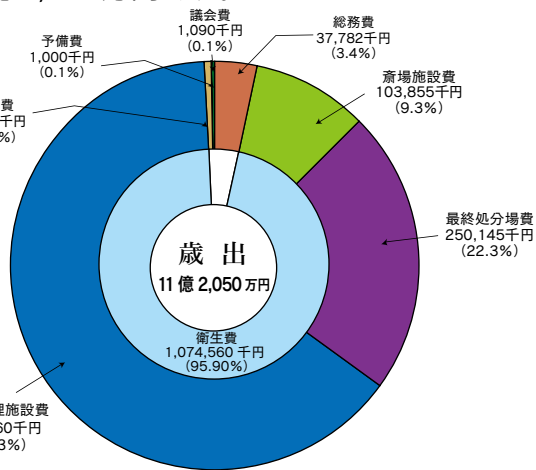
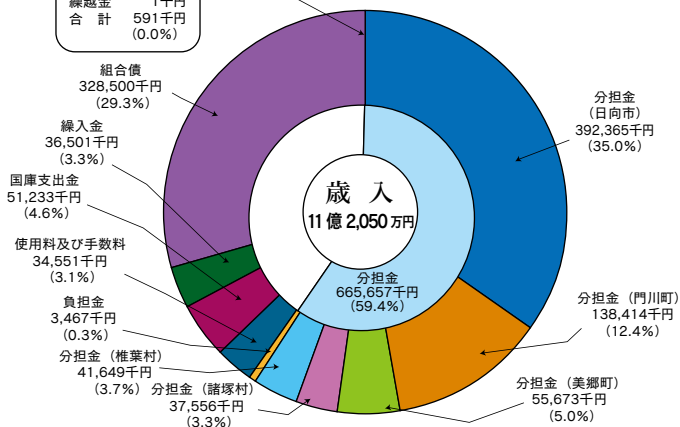
【Q2】公共施設等から発生する汚泥の一部について、次期広域最終処分場においても、現行の日向市最終処分場のように、埋立てを継続できるのか。

【A2】構成市町村から要望も上がってきているため、詳細に聞き取りをして、広域連合で検討することとしている。(広域連合事務局長)

令和7年度 予算

令和7年度の当初予算は歳入・歳出共に11億2,050万円です。

| | |
|------|-------------|
| 財産収入 | 366千円 |
| 請取収入 | 222千円 |
| 県支出金 | 1千円 |
| 寄附金 | 1千円 |
| 繰越金 | 1千円 |
| 合計 | 591千円(0.0%) |



【編集後記】

広域連合管内には、「閣下」の愛称で有名な上椎葉ダムをはじめ、様々なダムが点在しています。多くのダムや発電所にはそれぞれダムカードが作られており、道の駅や観光協会などで手に入れることができます。調べてみたら県内で47種類発行されており、休みを利用して各ダムを訪れ、45枚(2枚は配布休止中)集めることができました。一つ一つのダムに個性があって面白いですよ。(MK)